

# 分布図情報



## さいごくさんじゅうさんしょほうかくえすぜん 西国三十三所方角絵図全

刊年 1734(享保19)年/作者 野田知義 版元 三番粉川寺大門前魚手屋清左衛門(板元)

寸法 80×80cm/木版手彩/岐阜県図書館蔵

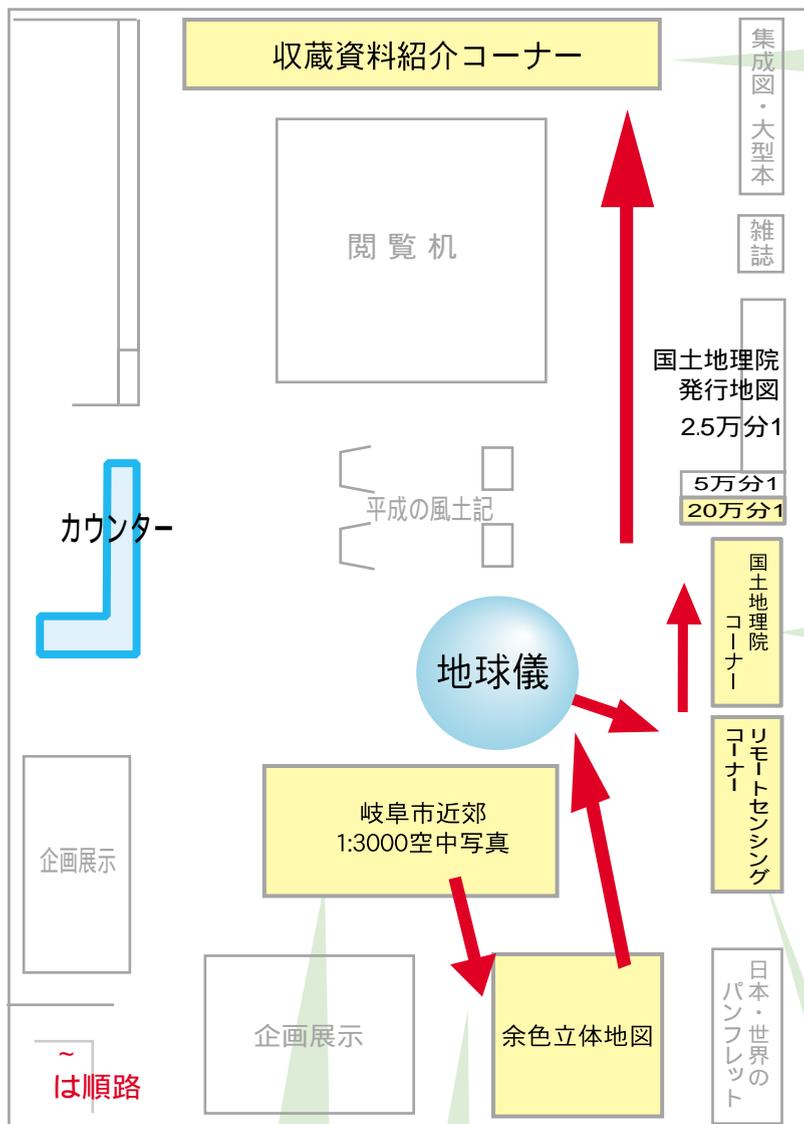
巡礼は、神社や寺院などの神聖な霊場に参詣の旅をし、信仰を深める宗教行事、およびその旅をする人のことをいいます。この旅を成し遂げるにより誓願じょうじゆが成就くどくし、特別の功德くどくが得られると信じられました。

三十三所は、観音が人々を救うために、三十三通りに身をかえてこの世に現れるとの説にもとづいています。三十三所観音巡礼に庶民が参加するようになるのは室町時代からで、江戸時代にはその数が大幅に増加しました。このため、その案内図も各地の版元から多数出版されました。

本図は、那智山の青岸渡寺を第一番とし、県内の谷汲山華嚴寺を結願けちがん札所だしよとするルートを示します。このルートは約900kmに及びますが、伊勢参宮をすませた東国からの巡礼者に便利でした。しかし、畿内や西国からの巡礼の場合は、近くの札所から始めるなど自由にまわったようです。地名は当時の庶民が読みやすかった平仮名や草書で書かれています。札所の屋根と巡礼道が朱、城下や主だった社寺等が黄、山並みが緑で丁寧に着色されています。

# 分布図センターがリニューアル！

閲覧室に収蔵資料紹介コーナーを新設するなど、常設展示をリニューアルしました。



## ⑥ 収蔵資料紹介コーナー

NEW!!



旧ソ連製地図、外邦図（戦前に旧日本陸軍が作製した国外の地図）、国土地理院や米軍が撮影した空中写真、国内外の立体地図、江戸時代の古地図などの所蔵資料を紹介しています。

## ⑤ 国土地理院コーナー



国土地理院が発行した新しい地図や、地図に関する最新情報などを紹介しています。  
また、20万分1地勢図を自由に見ていただけるようにしました。

## ① 岐阜市近郊空中写真 ③ 巨大地球儀



岐阜市内を空から見る事ができる「岐阜市近郊空中写真」や、当センターのシンボルである、世界最大級の地球儀を見ることができます。

## ② 余色立体地図



中部地方を、余色立体メガネ（3Dメガネ）を使って見る地図です。富士山や中央アルプスが浮き出て見えます。

## ④ リモートセンシングコーナー



平成18年1月に打ち上げられた国産の人工衛星「だいち」がとらえた写真など、宇宙から見た地球の様子を紹介しています。

# 「地図でたどる世界遺産」

【7月28日(土)～10月25日(木)】

## 収蔵資料展示について

岐阜県図書館に併設されている世界分布図センターは、全国唯一の「県立の地図の資料館」で、児童生徒の学習から専門家の学術研究まで幅広い活動を支援するため、「古地図（資料的価値の高い現在発行されていない地図）」、「国土地理院関係地図」、「旧ソ連製地図（旧ソ連が作製した東欧・アジア・アフリカ諸国の地図）」、「外邦図（旧日本軍が作製した国外の地図）」を4本柱に、世界約180余の国と地域の地図とその関連資料約14万点を収蔵しています。

こうした収蔵内容の一端を皆様にご覧いただくため、館内外で計画的に地図展を開催しています。

## 世界遺産と展示の概要について

世界遺産とは、1972年のユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）」に基づいて世界遺産リストに登録された遺跡や景観そして自然など、人類が共有すべき普遍的な価値を持つものを指します。2007年7月現在、世界遺産条約の締約国数は184カ国、登録されている世界遺産の数は851件のにのぼります（日本の登録数は14件）。

今年度は、国内の世界遺産のうち、「知床」、「白川郷・五箇山の合掌造り集落」、「古都京都の文化財」、「姫路城」、「石見銀山遺跡とその文化的景観」、「屋久島」の6地域を様々な種類の地図で紹介しました。

## 展示資料について

世界遺産には、国や関係の自治体が作製した専門的な地図だけでなく、親しみやすい観光用のイラストマップや写真付の解説等が多数あります。今回の展示では、関係の機関から収集したこれらの地図のほか、現在の景観との比較もできるように、世界遺産がある地域が描かれた江戸時代や明治時代の古地図も展示しました。また、国土地理院発行の地形図や空中写真等も展示し、地図の表現法による違いも楽しんでいただけるようにしました。

## 展示資料の紹介（石見銀山のコーナー）



『日本図（IAPONIAE INSVLAE DESCRIPTIO）』  
オルテリウス作 / 1595年刊

16世紀末にヨーロッパで発行された日本図です。ラテン語で、「Hivami」（石見）附近に「Argenti fodinae」（銀鉱山）と記され、石見銀山の存在がヨーロッパにも広く知られていたことがわかります。

## ミニツアーと展示会場の様子



担当職員が30分程度で展示をご紹介するミニツアーを日曜日（または土曜日）に開催しています。（開催日は、ホームページでご案内しています。）

# 第13回

# 児童生徒地図作品展



作品づくりを通して、地図に興味や関心を持ち、生活の中で使いこなす力を高めることを願って始まった児童生徒地図作品展は、今年度で13回目を迎えました。今回は、県内の小・中・高等学校から過去最高となる366点の応募がありました。力作揃いの作品の中から15点の入賞作品、45点の入選作品が決定しました。また、小学校1年生の仙石芽依さんの作品は第11回全国児童生徒地図優秀作品展（国土地理院主催）において、「国土交通大臣賞」を受賞しました。

## 地図作品の魅力

### (1) 自分の生活の中から見つけ出されたテーマ

子どもたちが生活している空間で、疑問に思ったことや、発見したこと、もっと考えてみたいこと等が、地図作品のテーマとなっています。

一人一人の子どもたちの「もっと詳しく調べたい!」「調べたことを、だれかに知らせたい!」「発見したことを地図に表したい!」という素直な気持ちが、作品に表れています。

岐阜県知事賞



「いえにあそびにきたむし」  
岐阜市立鶯小学校1年 白井 杏奈

### (2) 創造的な地図づくり

子どもたちが創り出した地図は、どれも大変魅力的です。それは、子どもたちなりの感性で生み出した他のだれも真似できない地図だからです。

地図作製にあたっての調査方法や表現の仕方、地図づくりを通して得た気づきなどは、子どもたちによって様々です。

パソコンやカメラ、コピー機などを子どもたちが自由に操作できる時代です。しかし、収集した資料を自分の手で絵や文に表現したり、調査や観察したことを自分なりに分析したりすることは、創造的な地図づくりには不可欠であり、見る人の心をひきつけます。



「おすすめいどうを自転車で行くこう!」  
岐阜大学教育学部附属小学校3年 成戸 雪季



「各駅停車鉄道の旅 ~60分間でどこまで行けるかな?~」  
各務原市立蘇原第一小学校6年 長尾 滉子



「安全MAP 僕の住む町今渡南小学校校区」  
可児市立今渡南小学校6年 大久保 嘉哉



「わたしのうちのまわりのちず  
(はる・なつ・あき・ふゆ)」  
土岐市立妻木小学校1年 仙石 芽依



「岐阜市の小学校・校歌にでてくる場所」  
岐阜市立本荘小学校3年 歳藤 菜月

(3) 作品づくりによって得られるもの

地図づくりを行うためには、自分のテーマとじっくりと向き合わなければなりません。

地図づくりにじっくりと取り組むことによって、子どもたちは、自分の社会を身近に感じ、社会生活をより具体的にとらえることができるようになります。つまり、社会的なものの見方や考え方を培い、社会認識を深めていくことになるのです。



「墨俣町の鳥マップ」  
大垣市立墨俣小学校3年 水野 智文



「給食で世界旅行」

岐阜市立長良東小学校2年 高橋 麗

「くらしとつながる町の東西南北」

岐阜市立芥見東小学校3年 服部 彩音

「八幡神社と諏訪神社」

岐阜県立加納高等学校 地域研究部



「尻毛駅前商店がいの今と昔」

岐阜市立木田小学校3年 塩谷 大地

「再発見！岐阜県のくらし」

岐阜市立鶉小学校5年 土屋維智郎

「備えよう！知ろう！地震の起こる確率と耐震状況」

岐阜市立本荘小学校6年 近藤 寛人

「世界のニュースはどこから？」

山県市立高富中学校2年 村瀬 和正

60点の作品は、10月27日(土)から12月27日(木)まで、世界分布図センターで展示されましたが、多くの方々がうなずきながら鑑賞されたことが印象的でした。来年度も、素晴らしい地図作品の応募が多数あることを期待しております。

なお、ホームページで入賞した15点の作品を紹介しています。是非ご覧ください。

<http://www.library.pref.gifu.jp/map/index.html>



「断層マップ 岐阜県にある断層をさがして」  
岐阜市立三輪南小学校6年 小西 はなの

## 地図講演会「水(行)奉行・高木家文書の古地図」

岐阜聖徳学園大学教育学部教授  
名古屋大学附属図書館研究開発室研究協力者  
秋山 晶則 先生

7月21日(土)に、日本史学・記録史科学を専門とする岐阜聖徳学園大学教育学部の秋山晶則教授に、「水(行)奉行・高木家文書の古地図」と題してご講演いただきました。

先生は、平成18年度まで名古屋大学の附属図書館研究開発室の専任助教授として、附属図書館所蔵高木家文書及びこれと密接に関わる関連資料の整理・研究にあたられ、現在も研究協力者として研究に携わっておられます。

高木家は、現大垣市上石津町域の美濃国石津郡時・多良両郷を西・東・北の三家に分かれて支配した旗本で、幕命により木曾三川の治水を担当しました。この高木家に伝来し、総点数約7万7千点と見積もられている一大古文書群が高木家文書で、戦後名古屋大学に収蔵されました。

講演は、高木家文書のうち、治水関連の古地図に関するもので、古地図から読み取れる流域環境情報や、河川という自然と人間がどう関わってきたのかなどを、各種の地図画像を織り交ぜながらわかりやすくご教示いただきました。

とりわけ、近世の治水資料に新たな関心が寄せられている事例として、経済性よりも環境を重視した、段階的施工による「見試し」と呼ばれる伝統工法が再評価されつつあるというお話は、環境共生の時代に向けて、示唆に富むものでした。

また地図が作製された時代背景や、治水事業をめぐる幕府内部での権力抗争の話など、興味深いお話を数多く聞かせていただきました。



講師の秋山晶則先生

## 「楽しいね！地図づくり」

- わくわく地図教室より -

7月25日と26日、講師に地図研究家の渡辺一夫先生をお招きし、「わくわく地図教室」を開催しました。

25日の小学生低学年の部では「やった！地図がかけた！」というテーマで、自分の家のまわりの地図を紙に描いたり、パソコンで描いたりしながら地図づくりを楽しみました。

また、26日の小学生高学年・中学生の部では「自然観察・郷土調べの攻略のかぎは地図」というテーマで、必要な資料の探し方や調べたことを分布図にまとめる方法など、地図づくりの基礎を学びました。

地図教室を終えた子どもたちからは、「自分の家の



まわりの地図を描くのはむずかしかった。でも、好きなようにかけたので楽しかった。」「ぼくは、あまり地図が好きではなかったけど、地図教室に来て、地図が大好きになりました。また、来年も参加したいです。」「先生が、地球儀の見方を教えてくださいましたので、世界ということを考えるようになりました。」「資料の調べ方や、調べたことをわかりやすく地図にする方法を教えてくださいましたので、とても勉強になりました。自分でも地図をつくってみたいです。」「といった感想が寄せられました。

小学校1年生から中学校1年生という、幅広い年齢の子どもたちが参加しましたが、どの子どもも熱心に活動していました。



子どもたちは、自分で地図を見たり描いたりする楽しさや喜びを味わい、地図が大好きになったようです。

# 平成19年度 事業報告

世界分布図センターでは、分布図・地図について広く県民の皆さんにご理解をいただけますよう、次のような事業を実施しました。

## (1) 収蔵資料の展示

世界分布図センターが収集した分布図・地図を展示し、多種多様な種類の地図類があることを紹介するとともに、地図類の持つ様々な情報を提供いたしました。

(館内展示) 岐阜県図書館2階 世界分布図センター 企画展示コーナー

第1回	「地図で見る日本の町並み ~歴史が生きる景観~」	4月 1日~	5月24日
第2回	「『地図の日』記念展示~伊能図以前の日本図と伊能図~」	4月17日~	5月 6日
第3回	「外邦図で見る戦前のアジアと世界 ~太平洋~」	5月26日~	7月26日
第4回	「地図でたどる世界遺産」	7月28日~	10月25日
第5回	「第13回児童生徒地図作品展」	10月27日~	12月27日
第6回	「古地図の世界~名所旧跡図~」	平成20年1月 5日~	3月27日

(館外展示)

- ・瑞浪市民図書館「江戸切絵図でたどる時代小説」 6月 5日~ 6月29日
- ・可児市立図書館「江戸切絵図でたどる時代小説」 8月16日~ 9月 2日
- ・郡上市しるとり(郡上市中央)図書館「地図と防災~ハザードマップで知る災害対策~」  
9月 1日~ 9月30日
- ・郡上市はちまん図書館「地図と防災~ハザードマップで知る災害対策~」  
10月 2日~10月31日
- ・安八町生涯学習センター・ハートピア安八「江戸切絵図でたどる時代小説」  
10月 4日~10月25日
- ・美濃加茂市中央図書館「地図と防災~ハザードマップで知る災害対策~」  
11月 8日~11月25日
- ・大野町総合町民センター・図書館「江戸切絵図でたどる時代小説」 12月 5日~12月19日
- ・岐阜県博物館「古地図の世界 ~巡礼図~」 平成20年2月16日~ 3月20日

(2) 地図講演会 7月21日(土)(6ページ)

(3) 夏休みわくわく地図教室 7月25日(水)、26日(木)(6ページ)

(4) 第13回児童生徒地図作品展 (4,5ページ)

出品期間: 9月4日(火)~9月13日(木)

審査: 1次 9月25日(火) 2次 10月9日(火)

表彰式: 11月18日(日)

(5) 地図講座「地図に歴史を読む」 岐阜県図書館2階 研修室 (受講者 延べ94名)

第1回	「地形図の概要」・「木曾川と各務原」	中部学院大学	今井春昭 先生	8月 4日(土)
第2回	「地図から見た地名 自然災害を中心として」	加茂高等学校	原 賢仁 先生	8月11日(土)
第3回	「輪中地域の変容」	大垣南高等学校	安田 守 先生	8月18日(土)

## 池田山山麓の扇状地

山地から河川によって運搬された土砂が扇形に堆積されてできた扇状地。濃尾平野の西北に位置する池田山の山麓では大津谷、大谷、霞間ヶ溪に扇状地が確認できます。これらは、濃尾平野との境に池田山断層が存在し、断層西側の池田山が上昇して山地の浸食が進み、大量の土砂が運搬されることにより形成されたものといえます。

桜の名所として知られる霞間ヶ溪は、桜の満開を迎えると、遠方からは霞がかかったように見えることから「霞」の字があてられましたが、以前は「鎌ヶ谷」と記されていました。

この地は入会地として柴・薪の供給地、肥料や飼料の採草地に利用されていましたが、17世紀半ば以降、頻繁に起こる山崩れに対し、1780（安永9）年に大垣藩領主が草木伐採の禁止（鎌留）の命令を下し、保水力の回復を図りました。その結果、一帯に雑木が生い茂り、特にヤマザクラが繁殖して、文政年間（1818～30年）には桜の名所となったようです。さらに、1928（昭和3）年には、理学博士三好学の視察報告により国の名勝地及び天然記念物（サクラ）の指定を受けました。

扇央（扇状地の中央部）は山地崩壊による砂礫が堆積した地質のため肥沃でなく、水も伏流して得られにくい場所です。しかし、（茶畑）の記号の広がりでも分かるように、水はけや日当たりの良さを活かして「搦斐茶」の主産地となっています。また、願成寺付近では竹林の記号が確認できます。これは竹の栽培や研究に力を注ぎ、竹林翁と呼ばれた池田町深草出身の坪井伊助（1843～1925年）により植えられたもので、当時の地域振興を推し量ることができます。

さて、山麓を南北に走る道路は農道として昭和50年頃建設されたものですが、「東海自然歩道」も兼ねています。東海自然歩道は東京（高尾国定公園）から大阪（箕面国定公園）まで豊かな自然と史跡を巡りながら歩ける1,697kmの長距離自然歩道です。

この区間では、茶畑が広がる中に100基を超える古墳が点在する景観に接することができます。これらは6～7世紀に造られた願成寺古墳群と呼ばれる円墳群で、県下最大級のもので、また、小寺の安国寺をはじめ、歩道沿いには西美濃三十三霊場の寺院もあります。大津谷の堰堤群は岐阜県の近代化遺産に指定され、現在は霞間ヶ溪と並ぶ桜の名所で、キャンプも楽しめる公園に整備されています。

扇端（扇状地の先端）では伏流した水が湧水となって流れ出るため、集落や水田が発達しています。池田町では、湧水は杭瀬川となって流れていますが、特にこの流域は、岐阜県天然記念物に指定されている淡水魚「ハリヨ」の繁殖地として貴重な地域となっています。



1:25,000地形図「池野」  
（平成12年 国土地理院発行）82%に縮小

【参考文献】

『池田町史 通史編』池田町1978

「世界分布図センター」には14万点を超える地図・分布図、地図関係図書があります。

また、コンピュータ及びGISソフトを使ってオリジナルな地図・分布図を作製、印刷することができます。

学習や調査研究、国内外の旅行の準備などお気軽にご利用ください。

岐阜県図書館 世界分布図センター

〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1

TEL (058) 275-5111 (内線286)

FAX (058) 275-5115

URL <http://www.library.pref.gifu.jp/map/>

E-mail [mapstaff@library.pref.gifu.jp](mailto:mapstaff@library.pref.gifu.jp)